

driver AUTO CAMPER

NISSAN

NV350



日産NV350&200
最新スタイル

CARAVAN fair

キャラバンファン

エスマティアムック585

The PRIDE of CARAVANIST 2019-2020

VOL.

キャラバン主義 の 最前線

完全
保存版

FOREFRONT OF CARAVANISM



実用派からコダワリ派まで
厳選アイテム350超
カスタマイズパーツ大全!

最新 & 定番 人気モデル収録
キャンピングカー &
トランスポーター
カタログ 2019

NV350 CARAVAN CAMPING CAR &
TRANSPORTER CATALOG



初めての
キャラバン
選び

ENJOY NV350 CARAVAN LIFE



自宅近くにビーグルがあつたこともあり、キャラバンベースのリブロを選択した。「(キャンピングカーは)初めてだつたので、店が近くにあるのが一番の決め手」と話すが、「スタッフがみんなフレンドリー」という「人」の要素も大きかつたはずだ。

愛車は、使いやすいように工夫されている。注目は上段ベッド部分。ビーグル得意の吊り下げ式ベッドだが、専用パネルでなく、自作のパネルが載っていたのだ。「荷物置き場として使うには、標準のベッドは2列目シート直後までせり出してしまう」のだそうだ。そこで、短いタイプのパネルを自作したのである。

今は家族4人で出かけるし、いずれ3人に、ゆくゆくは夫婦2人旅になるかもしれない。そのときはゆつたりと使えるはず。海谷さんは、そんなふうに長く当グルマと付き合っていくことを考えていくのだった。



ワイドボディ&ハイルーフにキャンプ道具を満載

●家具を作り込んだキャンピングカーとしては広い荷室を誇る。海谷さんは、上段ベッド部を収納として活用し、さらなる収納力アップを図った。当モデル標準のテーブルは、市販のキャリーにピタリとハマる。車外でのテーブルとして活用中だ



海谷さんは毎年10月、ツインリンクモ天までモトGPを観戦しに行っている。5年前も、7月にリブロを契約した際に「モトGPに間に合させてください」とお願いした。クルマは無事に完成し、海谷さんはクルマを引き取つたその足で茂木に行つたという(つまり当日納車!)。そして車中泊をする際、スタッフに電話しながらベッドを開けたり、子供が上段ベッドから落ちたり…。愛車と初対面した日に、すでにこれだけの「ドラマ」があったのである。以前はミニバンで遊びに行つてたが、限界を感じていたためキャンピングカーを検討。条件はディーゼル4WDで、7人乗車が可能なこと。日産ディーラーと付き合いがあり、

以前はミニバンで遊びに行つてたが、限界を感じていたためキャンピングカーを検討。条件はディーゼル4WDで、7人乗車が可能なこと。日産ディーラーと付き合いがあり、

自宅近くの店という安心感



Vehicle **reabro WIDE**

●使いやすく、開放感溢れるレイアウトのリブロ。サードシートは横向きなので、5人+2人感覚で使う人には最適なモデルだ。広さ十分の2段ベッドを備える

購入・納車の時から ドラマがあった!?

購入して5年。今でも荷物の置き場は探っているトコロがあるという。しかし、自分で使いやすいよう、改良・工夫もいとわない。長く付き合うため、現時点で最良の“自分仕様”を導き出しているのだ。

文と写真=小松ひろ

OWNER 03

埼玉県草加市

海谷智則さん、公美さん、健斗くん



●「雑誌を見てFFヒーターはあった方がイイ」と思ったそうで、実際重宝している。ヒーターの吹き出し口のところに置いてある収納ケースは、ベッド展開時には支柱として機能する。これまで就寝時の安定感が飛躍的にアップした



●サードシートはお座敷状態が基本だと。そのため、上段ベッド展開中でも、冷蔵庫へのアクセス性は悪くない。キッチンも使える状態にはあるが、遊びに行った時に汚れを流すくらいの使用頻度



●左は下段ベッドを展開した状態。就寝時は、上の奥さんが上段(この日は不在)、下の子とご主人が下段、奥様はその都度……といった感じだとか。右の写真から、標準の上段ベッド(ルーフ側面に収納)と自作収納用パネルの長さの違いが分かる。後者の方が、乗員への圧迫感は少ない

ENJOY NV350 CARAVAN LIFE



モデル名の通り“デュオ(2人)”での使用に便利なダイネット！

●右のメインカットのようなコの字型ソファ仕様からベッドへの展開は簡単。バーを引き出し、背もたれを載せるだけ。コレも、当車に乗り替えた理由の1つだ。しかも、背もたれのマットは一部に切り欠きがあり、上の写真のような“お座敷仕様”にすることもできる。ゆったりとしたサイズのキッチンも備わるが、相澤さんは「基本的に使わない」そう。しかし、横の棚は有効活用。コンパクトにたためるコンロなどを収めている



OWNER 04

千葉県鎌ヶ谷市

相澤和裕さん、ふじ子さん



アイデア家具で車内の快適化を推進！



●スライド式窓を少し開け、換気ができる自作ファン。模型塗装用の排気ダクトを活用した。右下の写真は自作のクーラー。中に氷の袋を入れ、融解熱を利用してファンで冷気を送り出す仕組みだ

●ベッド下の収納スペースには就寝関係のグッズが収まる。後部からだけでなく、ベッドマットを1枚持ち上げれば取り出せる。上下左右に伸縮ポールを組み込み、限られた空間を有効活用する態勢も整っている



●助手席背後にクツ箱があるのはいいな」と思っていたご主人。傘立てのあるクツ置きを見つけ、サイズを合わせるべく加工して、最適仕様を実現した

これは何でしょう？

●ベッドのヘッドボードに100円ショップで購入したメガネ置きをセット。使える空間を目指し、有効なアイテム探しも忘れない

●奥様の大好きな猫のキャラクターのステッカーもDIY製作。キャラの35周年記念ロゴをNV350へとアレンジ（さらにモデル名の「Duo」を足した）。脱着可能なマグネット式だ



アイデア&実行力で使い勝手向上を狙う

相澤さんの愛車は、各所にアイデアが詰まっている。しかも、それを自分で企画・具現化してしまうのがスゴイところ。DIYのクツ置きや換気扇など、注目すべきポイントは多い。

文と写真=小松ひろ

自作のクーラーは注目度大
バイクにテントを積んでキャンプを楽しんでいた相澤さんは、以前からキャンピングカーに興味があった。しかしバイクで事故に遭い、右手に後遺症が残ってしまった。キャンプは続けたいが、テントを張るのは難しい。そこで、「定年してから」と思つて、外に出てベッドを開いてしまった。キャンピングカーを少し早めに購入。1台目は軽キャンパーだったが、実際に使ってみると、寒い時期は、外に出てベッドを開いているうちに車内がすっかり冷えてしまうということがあった。「つねに横になれるのもいい」と思い、乗り替えを決意。現車の購入に至った。2人での使用で、常設ベッド（非展開が簡単）を求めた結果、ビーカルのデュオが候補に浮上。「ハイエース版も見たけど、アラウンドビューモニターがあるのが決め手になりました」。キャラバンならではの機能の存在が効いたのだ。車幅は2人であればワイドでなくても問題ないと判断して、取り回しのよさからナローに決定。乗り替えのきっかけだった、「冬の寒さ」は、FFヒーターの装備でしっかりとカバーしている。車内には相澤さんのアイデアがそこかしこに詰まっている。スライド式の小窓を少し開けた状態でスムーズに換気できるファンや、助手席背後の空間を有効利用するクツ置き、除湿＆冷房機能を有するクーラーなどを自作し搭載している。アイデア&自作で、愛車をより自分好みに改善していく。次なる自作アイテムも気になるところだ。



Vehicle Duo Type C

●2人での旅行に最適なモデルで、乗車スペースと居住スペースが分かれているのが特徴。ベッド展開は簡単。そしてベッドが低い位置に配され、開放感にも優れる